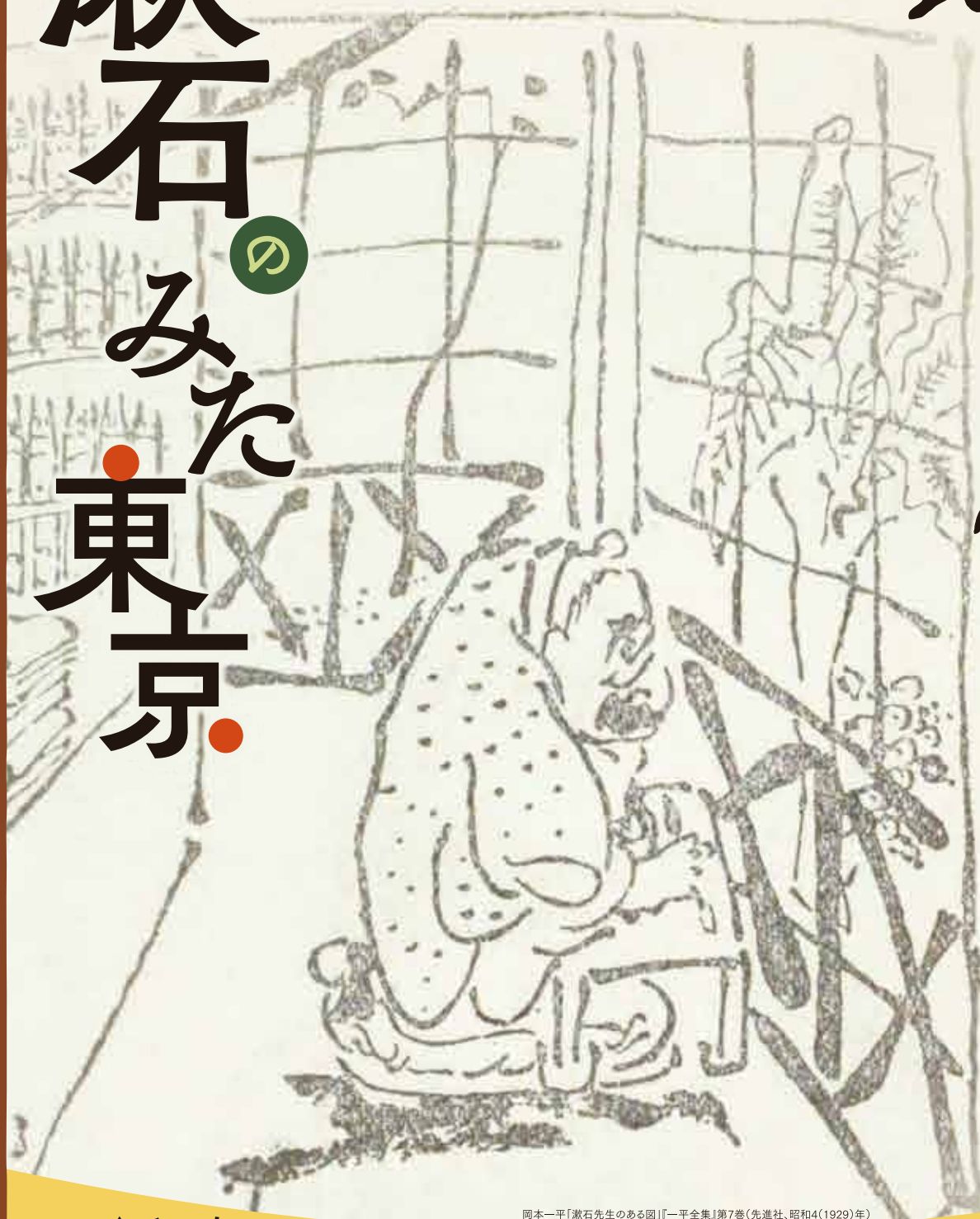


漱石山房記念館《通常展》テーマ展示

硝子戸の中と

漱石の みた 東京



岡本一平「漱石先生のある図」『一平全集』第7巻(先進社、昭和4(1929)年)

令和5年

7月13日^木 - 10月15日^日 10:00 ~ 18:00

休館日: 毎週月曜日(祝休日にあたるときは、その翌平日)

入館は17:30まで

新宿区立漱石山房記念館 2階資料展示室

観覧料 **一般 300円** **小中学生 100円**

※小中学生は土日祝日、7月21日(金)~8月24日(木)は無料

※団体(20名以上・要事前連絡)は個人の観覧料の半額

※障がい者手帳等をお持ちの方は手帳の提示で無料

(介助者1名無料)

主催 新宿区立漱石山房記念館

(指定管理者:公益財団法人新宿未来創造財団)

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7

TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211

<https://soseki-museum.jp/>



漱石の硝子戸の中

硝子戸の中

の

みた

東京

『硝子戸の中』は、夏目漱石の最後の随筆です。大正4(1915)年に朝日新聞に39回にわたって連載されました。漱石は、書齋から見える風景や、訪ねてくる人々、自分の思い出などの身近なエピソードを記しています。漱石の日常生活や過去の記憶を知ることのできる本作には、漱石山房を中心に、早稲田や神楽坂などの新宿区内の場所に加え、東京の様々な場所が登場します。

本展示は、『硝子戸の中』で舞台となった場所について、漱石の文章とともに過去・現在の地図や写真を展示し、漱石文学を通じて地域の歴史を知る機会とします。漱石の視点を通して『硝子戸の中』に描かれた東京の風景をたどります。



「硝子戸の中」原稿(天理大学附属天理図書館蔵)
※展示は複製



「硝子戸の中」『東京朝日新聞』大正4(1915)年2月18日(部分)



神楽坂入口(昭和34(1959)年)



早稲田南町の書齋における漱石(大正3(1914)年)



夏目漱石『硝子戸の中』(岩波書店、大正4(1915)年)

関連イベント

ギャラリートーク 無料

日時

令和5年 7月17日(月祝)、8月20日(日)
9月17日(日)、10月15日(日)
午後2時～2時20分

場所

地下1階講座室



夏休みの自由研究にも

ミステリークエスト
～夏目漱石がらの挑戦状V～

夏目漱石をテーマとした謎解きイベント。
西落合図書館と漱石山房記念館に行って問題を解こう!
全問答えた方には記念品をお渡しします。

開催期間 7月21日(金)～8月24日(木)

会場 漱石山房記念館、西落合図書館(新宿区西落合4-13-17)

※クイズの冊子は期間中、漱石山房記念館と西落合図書館で無料配布します。
※漱石山房記念館の観覧には、別途観覧料が必要です。

対象
小学生以上



次回展示予告

《特別展》「夏目漱石と野上豊一郎・弥生子」(仮)
令和5年10月21日(土)～12月17日(日)

新宿区立漱石山房記念館 TEL.03-3205-0209
(指定管理者:公益財団法人新宿未来創造財団) FAX.03-3205-0211
〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7 <https://soseki-museum.jp/>

交通のご案内

〈電車〉東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分

〈バス〉都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

